



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」

一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」



とひのち かふち

《学校だより》 第21号

令和5年3月17日発行

湯河原町立湯河原小学校

校長 北村和裕

いよいよ卒業式まであとわずかとなりました。6年生は、ずっと通い、学び続けたこの湯河原小学校を卒業し、中学校に羽ばたきます。6年生は、様々な思い出が蘇ってくることでしょう。1～5年生も、6年生にいろいろな面でお世話になりました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため1～3年生は式には参加できませんが、6年生への感謝とお祝いの気持ちは伝わると思います。在校生、保護者の皆様、地域の方々、教職員など関わっているすべての人がほかほかな心で、6年生を送り出してあげたいと思います。

給食室からも「卒業おめでとう」

3月の初めに、卒業バイキングが実施されました。卒業する6年生のための豪華な給食です。2種類のおにぎりから1つ、3種類のパンから2つ、3種類のデザートから2つ選び、野菜スープがついています。おかずはパックに詰めたもので「ご卒業おめでとうございます」と書かれた紙が貼ってあります。6年生は食べ応えのある給食に大満足でした。こんなにたくさんものをわずか半日で用意してくださった給食室の調理員さんは、さぞかし大変だったことと思います。さらに、配膳も手伝ってもらいました。調理員さんたちの6年生に対する熱い思いが伝わってきました。感謝の思いでいっぱいです。



豪華なバイキング給食



はばたき活動

6年生は卒業するにあたって「はばたき活動」という奉仕活動をみんなで手分けして行いました。6年間通い続けたこの湯河原小学校に感謝の思いを込めて、1組は4階から屋上への階段、2組は体育館の器具庫や2階のバルコニーの掃除を行いました。普段の掃除ではなかなか手が回らないところを選んで一生懸命に取り組みました。また、1組は、これまで多くかかわってきた1年生に勉強や運動を教えるという取り組みを行いました。2組は各学年への感謝の思いを動画にまとめて配信しました。先日、自分たちのために心のこもった「6年生を送る会」を開いてくれたことに感動した6年生が、1～5年生へお礼の意味も込めて、一層力を入れて取り組んでいました。ほかほかな心が形となって表れた素敵な活動でした。



体育館の器具庫の掃除



1年生と漢字かるた取り

卒業記念講演会

15日(水)に卒業記念講演会を行いました。卒業記念講演といえば6年生が対象ですが、せっかく機会なので、全校の子どもたちが参加することとしました。講師は、旧湯河原幼稚園にアトリエを構える、光彫り作家の『ゆるかわふう』さんです。光彫り作品は、LED照明を背後から当てた建築用断熱材に凹凸を付けることで光の陰影を表現するものです。世界初のオリジナル技法だそうで、テレビや新聞など多くのメディアで取り上げられています。

昼5畳ほどの大きさの作品にLED照明を当て、体育館の照明を消してあたりが真っ暗になると、迫力のある竜の作品が見事に浮かび上がりました。子どもたちは驚きと感嘆の声を上げました。青色は断熱材の色で、深く削るほど白色になるそうです。講演終了後には、子どもたちはその作品を間近で見せてもらい、何の変哲もない断熱材が、斜めに彫られたり線のように鋭く彫られたりして素晴らしい作品になっていることに、再び驚きの声を上げていました。

湯河原で創作活動をされているゆるかわさんは「湯河原は自然に恵まれていて発想が豊かになります。ものを創るのにはとても良いまちです」と語られていました。また、「湯河原小学校の子と道ですれ違ふとあいさつをしてくれます。とても素直で良い子たちですね」と褒めてくださいました。



LEDで浮かび上がる世界初の光彫り